

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法
科目コード:120308

成人看護方法論Ⅱ Adult Nursing Ⅱ

担当教員	松本智里、今方裕子、瀧澤理穂、臺美佐子				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	成人期の特徴、健康機能障害、機能障害のアセスメント、看護援助方法				
学習目的・目標	<p><目的> 成人期における人間の健康機能障害をアセスメントし、看護上の問題を確定した上で看護実践の基本となる実践的思考プロセスを学修する。</p> <p><目標></p> <ol style="list-style-type: none">1. 栄養・代謝、運動、腎、泌尿器、生殖器機能に障害をもつ患者の健康障害の原因・要因について述べるができる。2. 栄養・代謝、運動、腎、泌尿器、生殖器に障害をもつ患者の日常生活における影響について述べるができる。3. 栄養・代謝、運動、腎、泌尿器、生殖器に障害をもつ患者のアセスメントの視点について述べるができる。4. 各機能障害における具体的な援助の方法について述べるができる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
事前準備	各機能に関連する解剖・生理学、疾病障害論当について復習の上、受講する。				
1-2	代謝機能に障害を有する患者の看護				臺
3-4	運動機能に障害を有する患者の看護				松本、幅
5-6	腎機能・泌尿器に障害を有する患者の看護				松本、今方
7-8	生殖器に障害を有する患者の看護				臺、瀧澤
教科書	疾病・障害論で使用したテキスト 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学(5)消化器、(6)内分泌・代謝、(8)腎・泌尿器、(10)運動器				
参考図書等	疾病・障害論で使用した教科書及び資料 看護学大辞典第6版(電子版)メジカルフレンド社				
評価指標	・講義の2/3以上の出席がなければ、試験は受験できず評価の対象にはならない。 ・授業時間内に指示されるレポート20%、および最終筆記試験80%の合計で評価する。 ・受講態度や遅刻・欠席により、減点の対象とする。				
関連科目	成人看護学概論、成人・老年看護方法論演習Ⅰ～Ⅱ、成人・老年看護学実習(急性期)、成人・老年看護学実習(慢性期)、解剖生理学、解剖生理学演習、代謝と栄養、疾病・障害論ⅡA～ⅡC等				
教員から学生へのメッセージ	病態生理との理解は、看護の基軸になるものです。				